



兼松 秀行

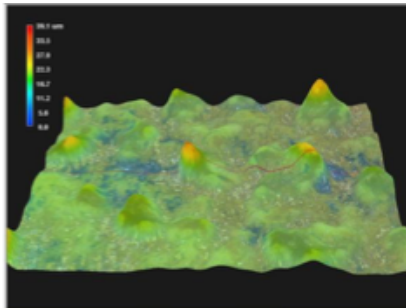
“ぬめり”を研究しています。

身の回りの、台所やトイレのぬめりが気になりませんか？これらは細菌の活動によって作られるバイオフィームが原因です。配管の中のスケール、病院の感染症など、多くの分野でバイオフィームができることによるぬめりが大きな影響を与えています。この問題は材料を工夫することで可能となることが多いと思われます。ご一緒に問題解決をしませんか？

所属：材料工学科 職名：教授 学位：工学博士

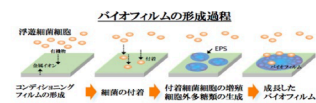
Mail: kanemats@mse.suzuka-ct.ac.jp

Web: [home page](#) [researchmap](#) [LinkedIn](#) [Twitter](#)

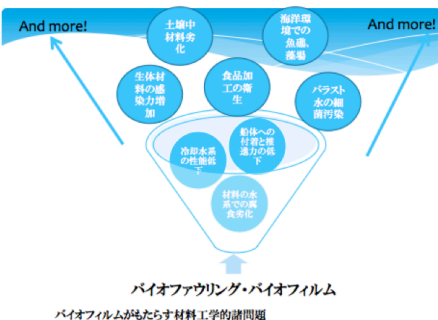


顕微鏡で観察したバイオフィームの一例
高さが高いところが赤色で、低いところが青色で表示されており、タワー状あるいはキノコ状に形成されていると言われている。

医学 → 環境 → 材料 (工学)



医療、福祉、衛生、食品加工 → ぬめり、よごれに関連するさまざまな工業分野



研究

専門 表面工学, バイオフィーム工学, 半導体工学

所属学会 ASM International, ECS, TMS, NASF, IMF, ACS,その他

研究 バイオフィームの工業利用、ぬめりの科学

Key words バイオフィーム, バイオフィアウリング, ぬめり, バクテリア

実験装置 LBR(バイオフィーム製造装置)、バイオフィーム評価装置系

論文など [researchmap](#)

教育

担当授業 基礎材料学〔2年〕, 材料組織学(3年), 金属材料(3年), 電気化学(5年), 材料環境科学(5年), 工業英語(5年), 資源工学(専1年), 卒業研究(5年), 特別研究I・II(専1, 2年)

E-learning e-learningを用いたアクティブラーニングを使ったり研究したりしています。Skype, Blackboardを多用して、活性化された授業を展開することを得意としています。